

News Release

生成 AI によるソフトウェア開発支援サービス 「CoBrain」β 版の提供を開始

株式会社エクスマーシオン(本社:東京/代表取締役社長:渡辺 博之)は、ソフトウェア開発の技術参謀として製造業のお客様を中心にコンサルティングサービスを提供しております。この度、昨年度より開発を進めておりました生成 AI を活用した要件定義添削ソリューション「CoBrain」のβ版のテスト参加契約を締結しましたのでお知らせいたします。



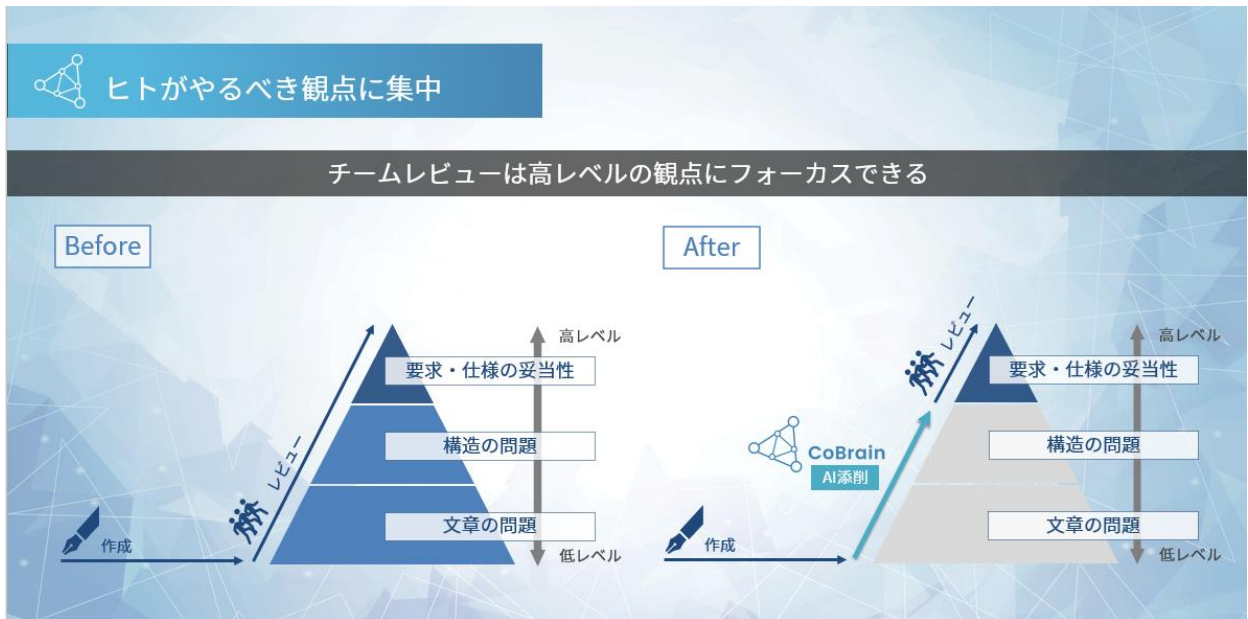
■ご利用いただくお客様

株式会社 SUBARU 様 他1社

■レビューの時間を削減し、本質の議論の時間を確保

ソフトウェア開発の上流工程であるシステムあるいはソフトウェアの要件定義において、担当者が要件定義書を作成した後、複数の他者からレビューを受け、その完成度を高めていく中で、本質ではない構造や文章といった体裁の問題解消に期間と工数を要しています。しかし、CoBrainのAIによるレビューを活用すると、要件定義書の問題に気づき、自らその場で修正できるため、作成担当者は他者のレビューを待たずに完成度の高い要件定義書を作成することができます。

その結果、本質ではない部分のレビュー工数を削減し、早期に開発本質の議論に移れるため、これまで以上に要件定義の精度を高める効果も期待できます。



■今後の展開

今回、2社様にβ版をご利用いただき、フィードバックいただいたご意見やご要望をもとにサービス品質を向上させたいと、今夏正式リリースしていきたいと考えています。

また、ソフトウェア開発におけるシステム要件定義や設計などの上流工程の開発手法は知見を持つ人材が少なく、各企業の暗黙知を含む場合も多いため、世の中に広く普及していません。当社はソフトウェア開発の上流工程を得意としており、コンサルティングサービスで培った「汎用的なノウハウ」を CoBrain に学習させ広く普及を狙うほか、お客様毎の製品ドメイン知識や背景情報にあわせた知見を学習させる「カスタマイズ型」の CoBrain も開発・提供していく予定です。

■業績にあたる影響

本件が業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

<本件に関するお問合せ>

株式会社エクスマーシオン

経営企画室

corporate@exmotion.co.jp